

事務事業名	単独農業用施設災害復旧事業		所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	災害復興G	
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	高木 洋輔	
	目的対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		
	基本事業	〈097〉農業基盤の整備・保全		電話番号	0854-40-1062 (内線) 2474	
目的対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。			予 算 科 目
			会計	0:1:5:5	大事業名	農業用施設災害復旧事業
			款	0:1	中事業名	令和3年単独農業用施設災害復旧事業
			大目	0:5:1:5	中目	
			中目	0:5	小目	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所の復旧を図ることにより、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊、水路の破損などの被災を受けた農業用施設(農道・水路など)を原形復旧する事業である。災害として認められる基本事項として、時間雨量20mm以上、24時間連続雨量80mm以上のどちらかをクリアすること、また災害規模としては、被害額が13万円以上40万円未満であることが必要となる。 起債充当率:80%(小災)、65%(単独)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
R3災 被災箇所確認、復旧工事132箇所	R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を求めないこととしている。(通常:2%→R3災:0%)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 竣工箇所数(現年災)	箇所	1	44	0	未定
イ 竣工箇所数(過年災)	箇所	2	6	132	352
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
【R4現年(R3災)】132箇所 工事費:54,474千円 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	1,400	19,300	36,200	112,500
		その他	千円	20	30	0	16
		一般財源	千円	847	8,819	18,274	28,284
事業費計		千円	2,267	28,149	54,474	140,800	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災農業用施設の復旧により、農業経営の維持安定化が図られた。 R3災分については、R5年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、復旧も複数年度にわたる見込みであるが、近接箇所は一括工事にするなど、早期復旧に向け計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県、管理者との情報共有を行い、円滑に事業進捗するよう努める。